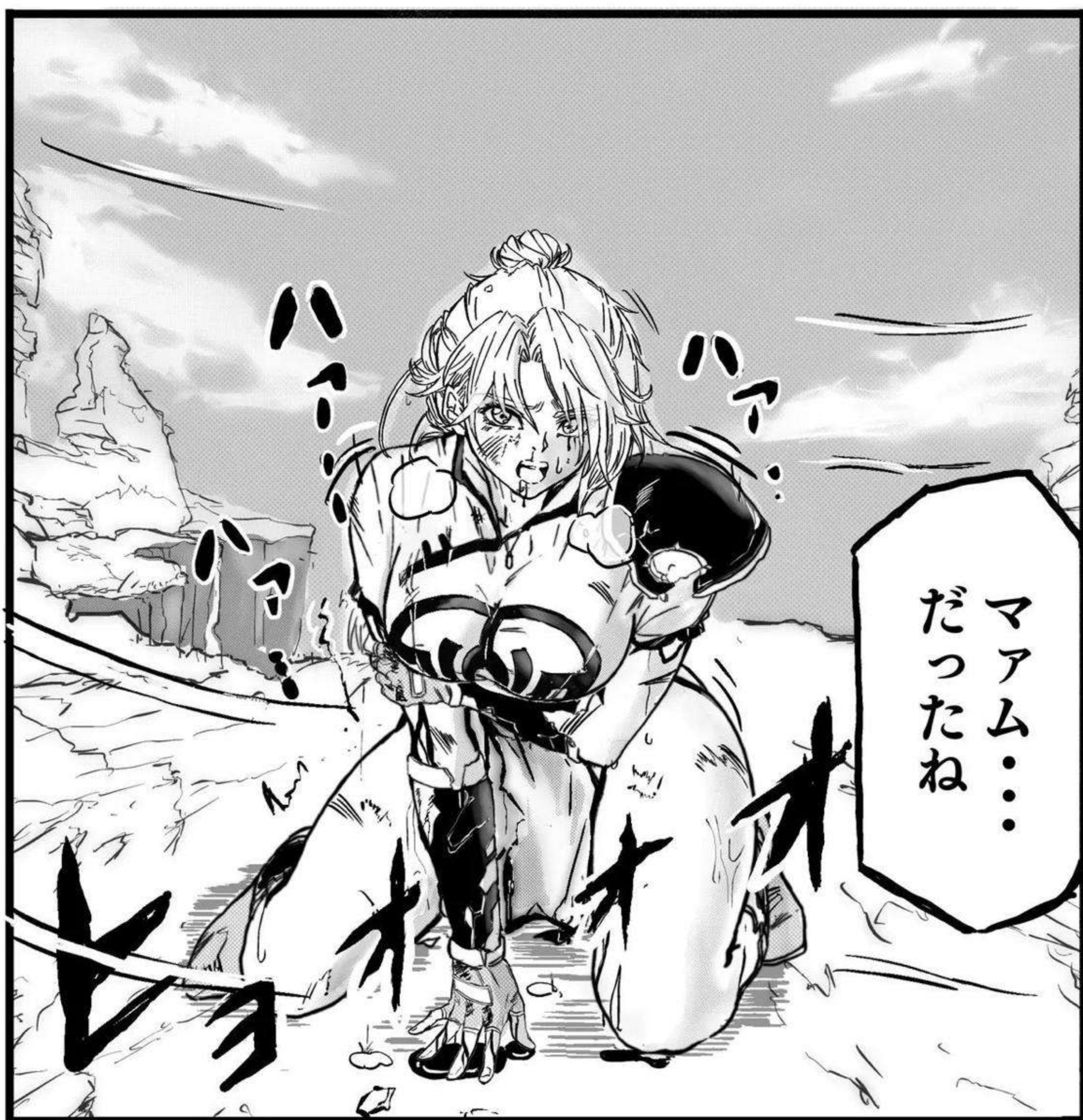
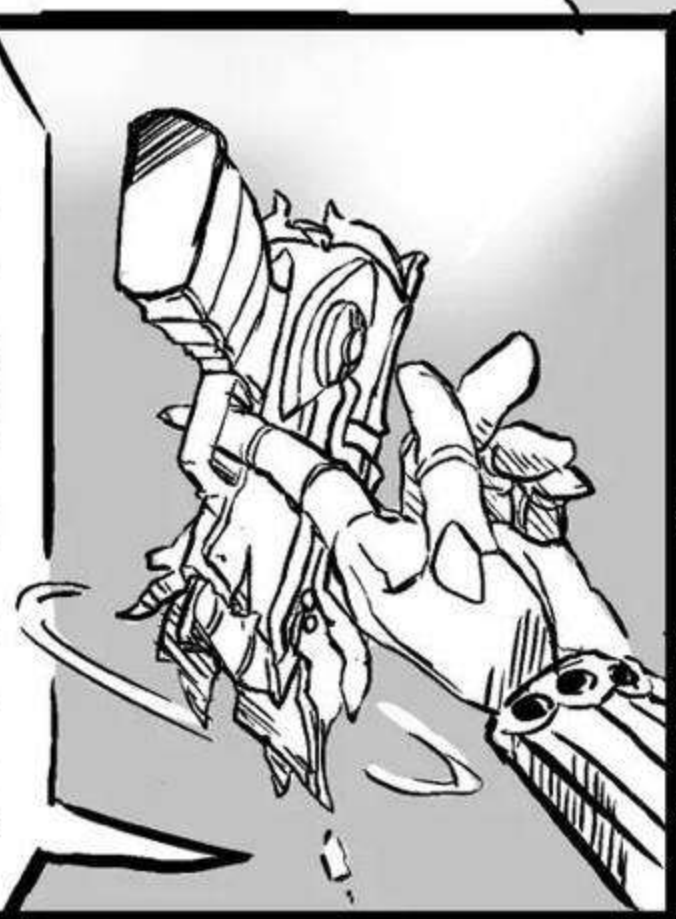




カラミティウォールの軌道を
強引に変えて足場を破壊し
全滅寸前のパーティーを見事
に救ってみせたか



こんな武器（オモチャ）
まで用意してたとはね



あのボウヤも残って戦い
たかったみたいだけど…
敵を欺くにはなんとやら
犠牲は最小限に留める
べきだからね



ちくしょおおお
おおおおお!!!

やるじゃないか本当に
状況から鑑みれば勝利に
等しい活躍だよ
でも…残念…



キミは
もう終わりだ…

まだ…





バーン様
この者いかが致し
ましようか

ふむ…
此奴らの成長ぶり…

背景には天界や精霊達との
接触もあり得る
警戒せねばなるまいな

はっ!!!
ではこの者からダイ達の全て
を聞きだすとしましよう

だったら
ボクにやらせて
欲しいなあ

なにより…

勇者パーティーを拷問
なんて
死神冥利に尽きる
じゃあないか



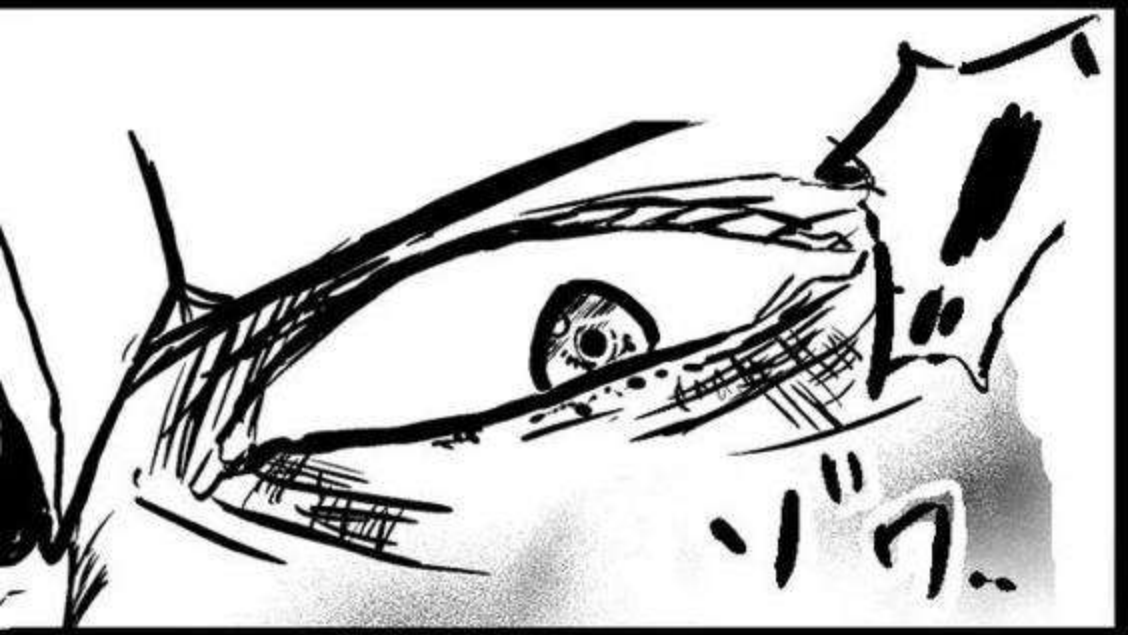
キミに興味が
湧いたよ…

キミみたいな
“心”も
“身体”も強い人間を

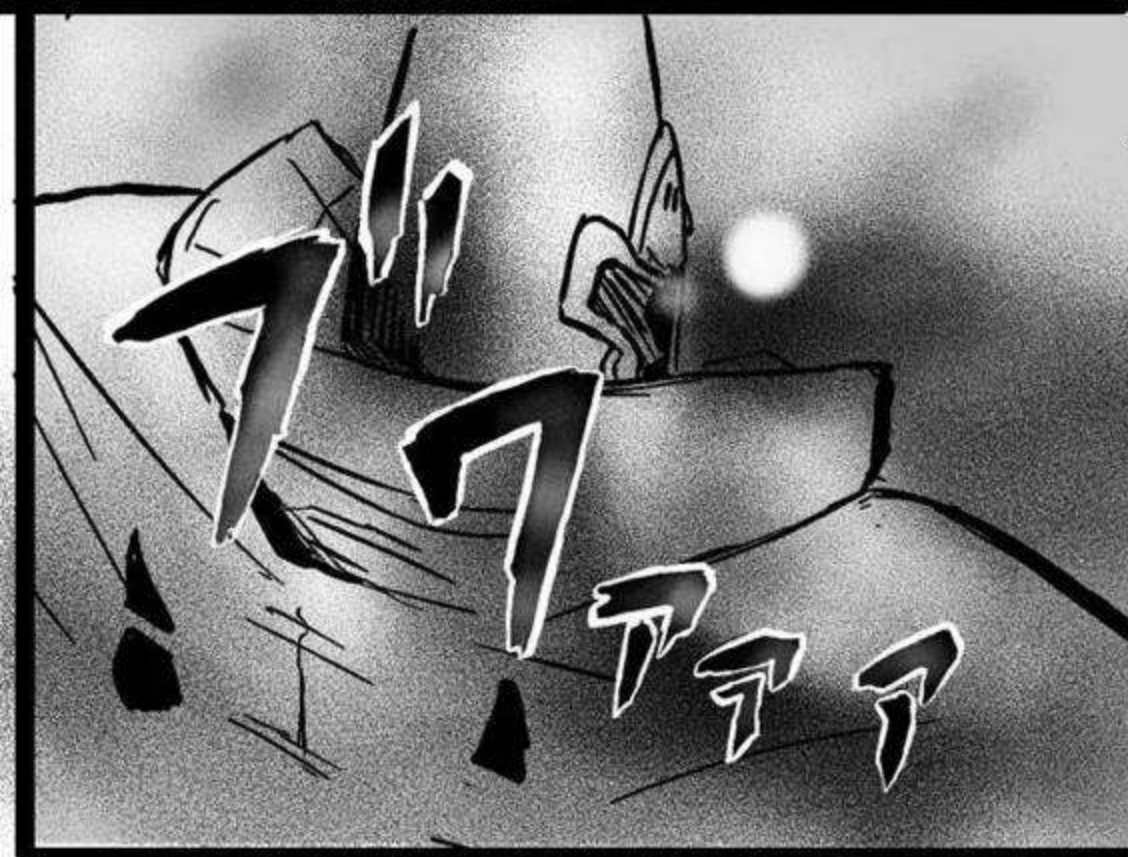
めちゃくちやに
出来るなんて

想像しただけで
ゾクゾクして来る
よお…

ねえ♪



よかろう…
ではその娘の処置は
キルバーン お前！



ヒュン—



滅相もない

悪いなキルよ



かしこまり
……ました



この件は全て
ミストバーンに任せる

よろしうですねー



オマエの好きに
してよいぞ…

そうゆう事だ!!
マアムよッ!!

ガガキ

カキ

あ あ あ あ あ あ

あ
あ
あ

偉大なる魔界の神
バーン様に楯突いたのだ

天地魔界：
全てにおいて未だかつて誰も
知らぬ苦痛と絶望を
与えてやろう：

覚悟しておくんだな

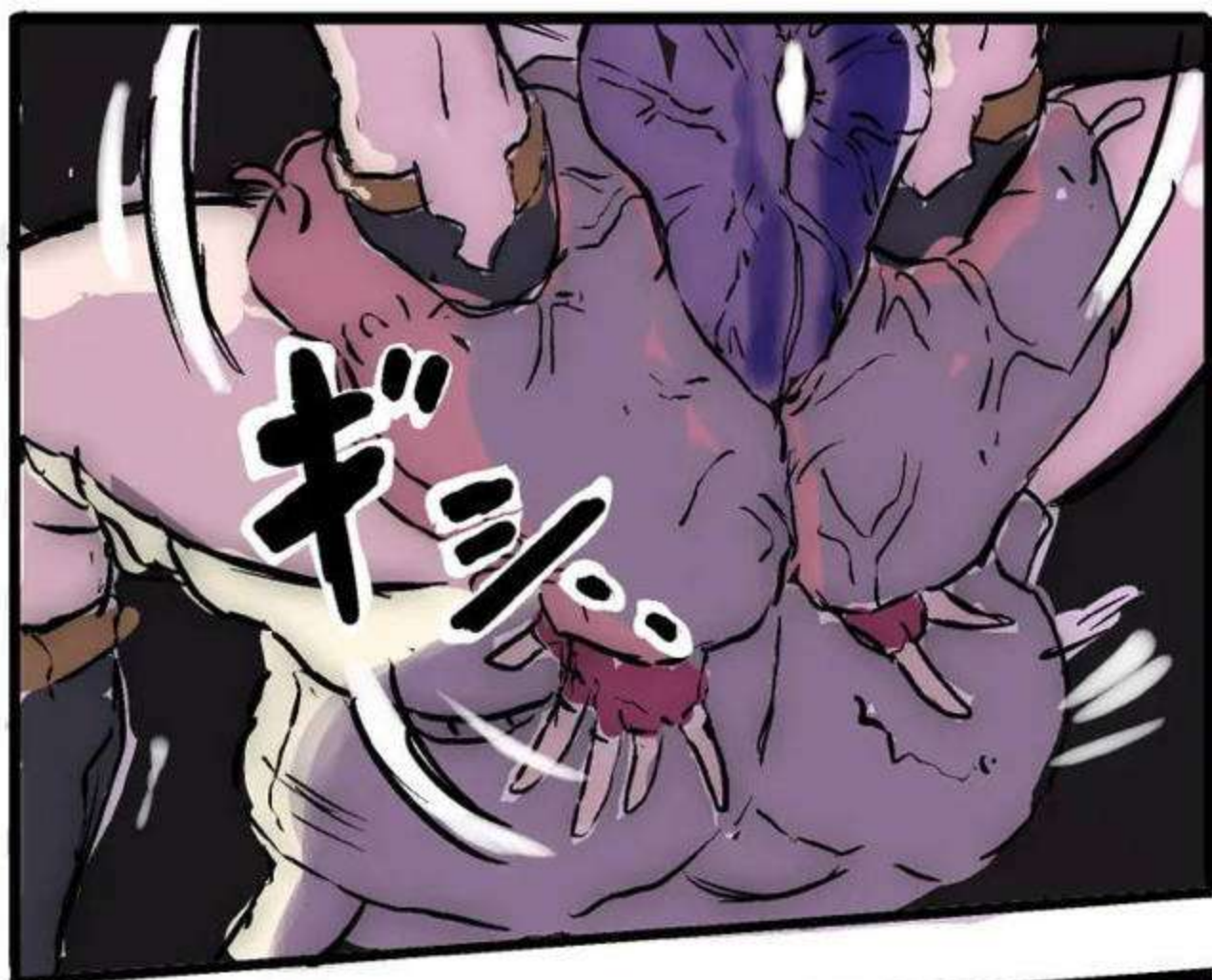


悔し……

こんな奴らに……

みんな……
……後は……

フツ
いい眺めだな
マアム…



意外だわ：
衣の下は随分と綺麗な顔
してるみたいね

部屋の趣味は
最悪だけど

ハァ
ハァ！

それが
あなたの本当の姿なのね

ハァ……

ミストバーン

スッ

アハハ

そうだな

ああ

ア
ア
ア

此処はバーンパレスの最深部：
バーン様と私しか立ちいれぬ神域

名を「凍れる時の牢獄」と言う

外界からは遮断され
時間の流れすら乏しい
助けなどはまず期待は出来ないだろう…

そして
私は唯一此処でのみ闇の衣を
取り去る事が許されている…

この場にて
この姿の私を見た
と言う事は

貴様の
命運が尽きた事を
意味する…

グニョ

どうやら本当に
どうしようも無い
みたいね

現にこうして
まだ生かされている

でもまだ
終わった訳じゃ
無いわ!!

ご高説どうも

不愉快だから
いい加減手をどけて
もらえるかしら?

今は少しでも
時間を稼いで機を伺うのよ

何っ!?





特別な事など
なにひとつもないさ…



ニャー

貴様の想像している通りだ

ブンブン

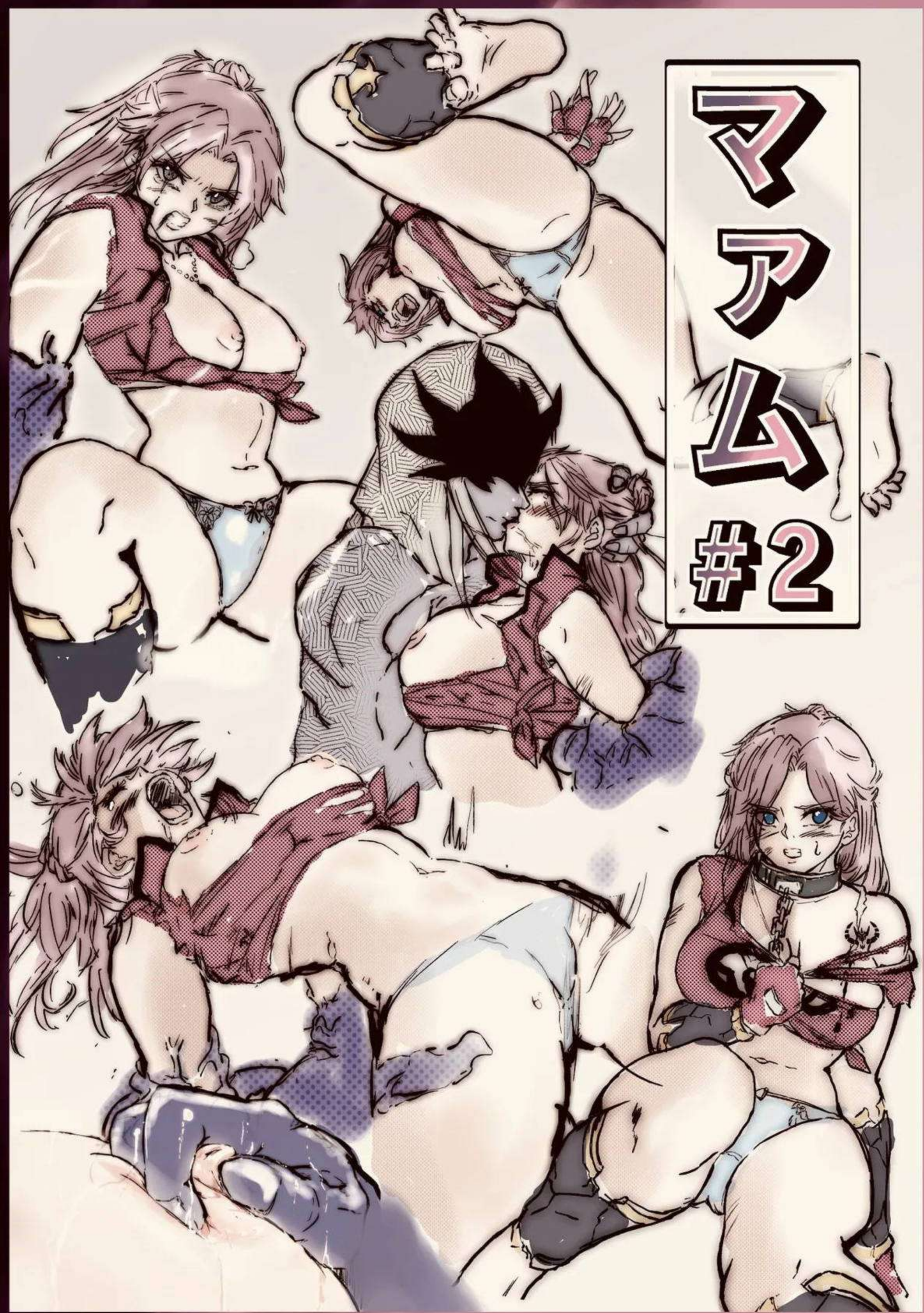
フキム

フキム

ブンブン

つづく

マ ア ム #2



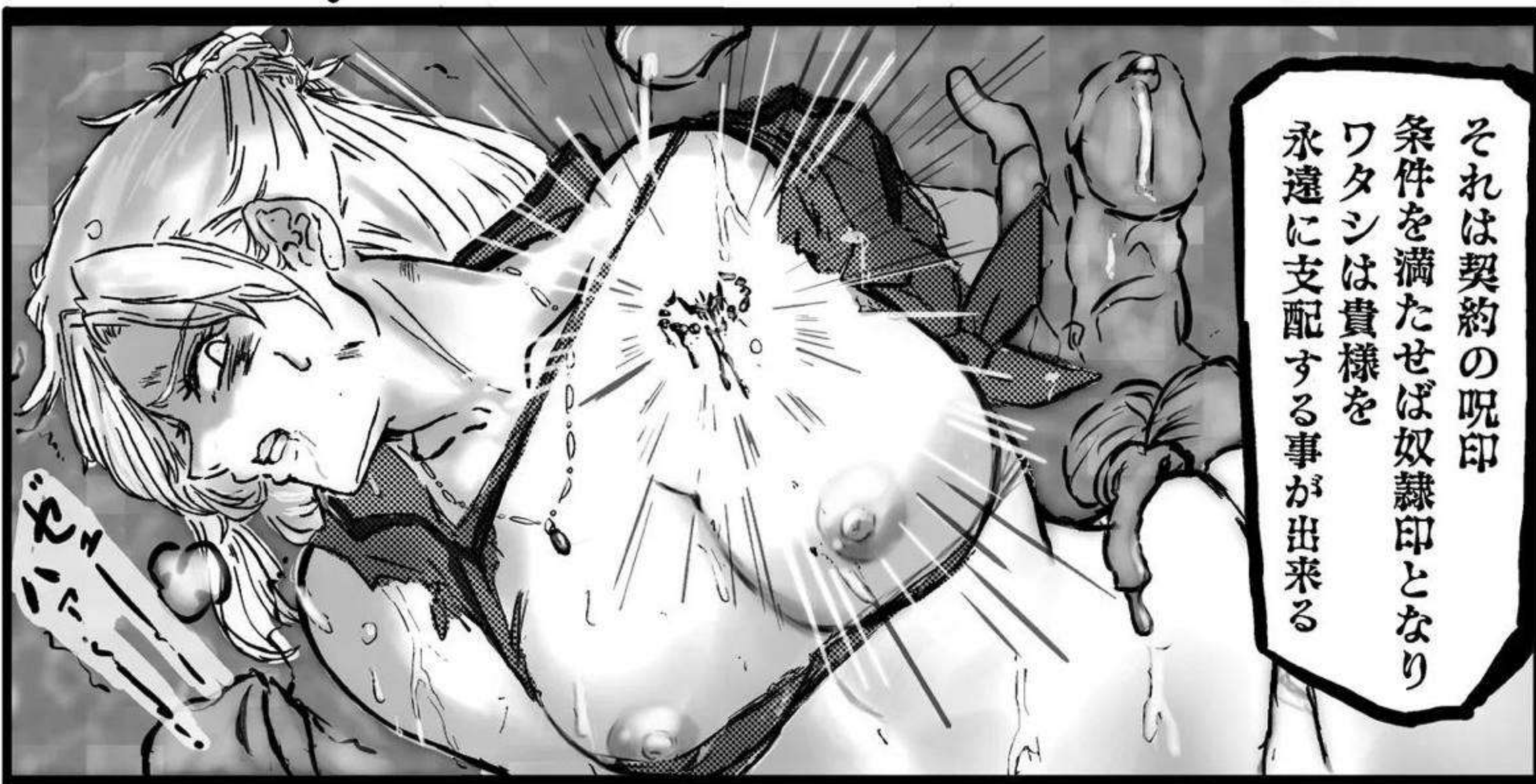
ギロ！！

その状態で抵抗出来るとは大したものだな
この分泌液と部屋中に満ちた
暗黒闘気……
並の戦士では運動機能はおろか
理性すら保てぬと言うのに。

素直に快楽に身を任せれば
いいものを……
抵抗すれば苦痛が増す
だけだぞ

見損なったわ!! ミストバーン
魔王軍は皆敵とは言え戦いに身を
おくものとしての誇りを持ち合わせて
いたわっ!!
でもアナタは違う!!
こんなの……
下賤の輩のような真似……最低よっ!!

くくく
減らず口を
だがそこまで
言われて仕方あるまい
ワタシも
ミストバーンとしての
器を見せよう

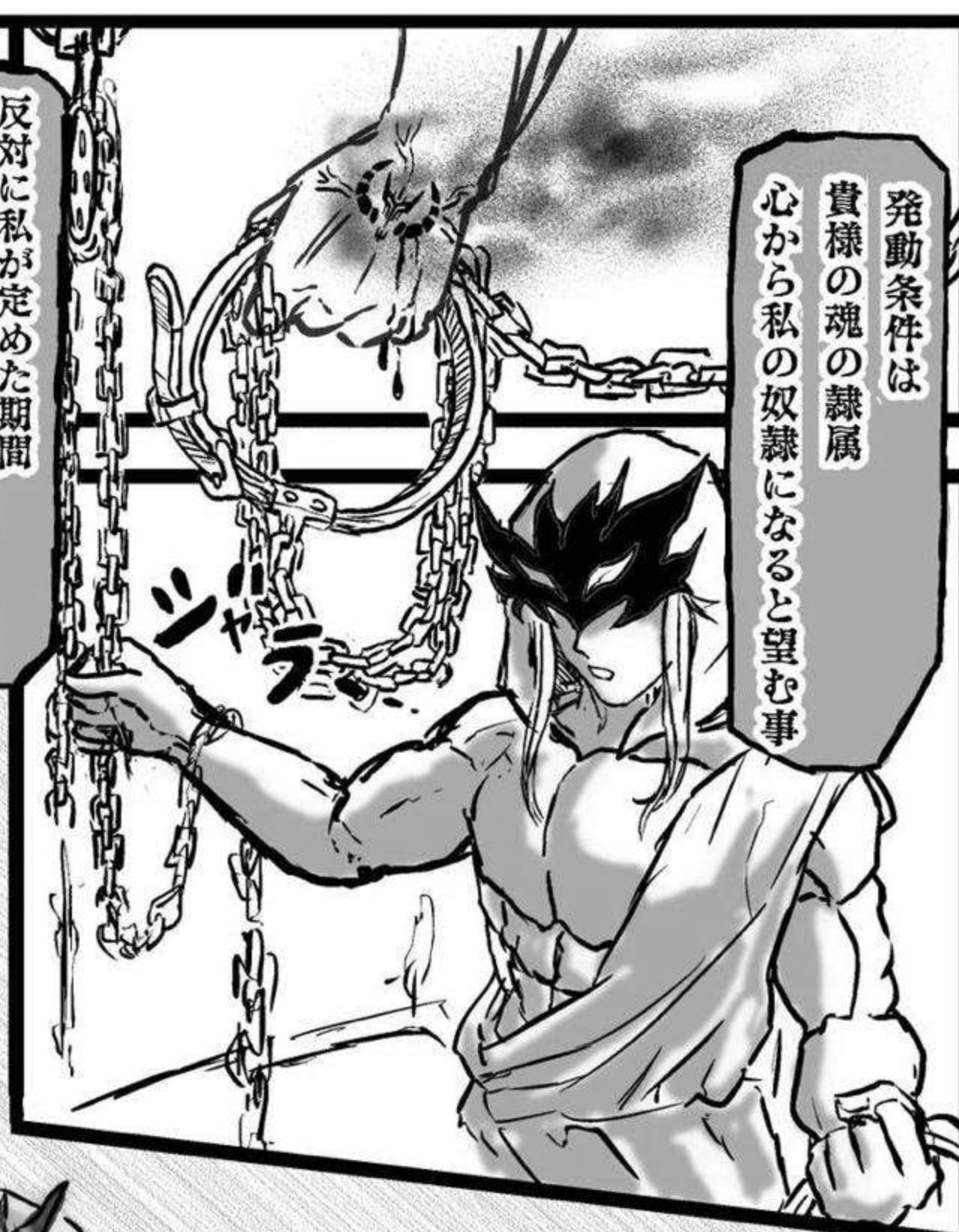


それは契約の呪印
条件を満たせば奴隷印となり
ワタシは貴様を
永遠に支配する事が出来る

発動条件は

貴様の魂の隷属

心から私の奴隷になると望む事



反対に私が定めた期間
私の刑脈に耐え抜けば貴様を解放
する事を約束しよう
これは契約だ…
たがえば私もタダでは済まない



フツ怪訝そうだな
まあ何にせよ
これで貴様にも希望が
生まれた事にな
るな…





期限はそうだな...

では始めるとしよう...



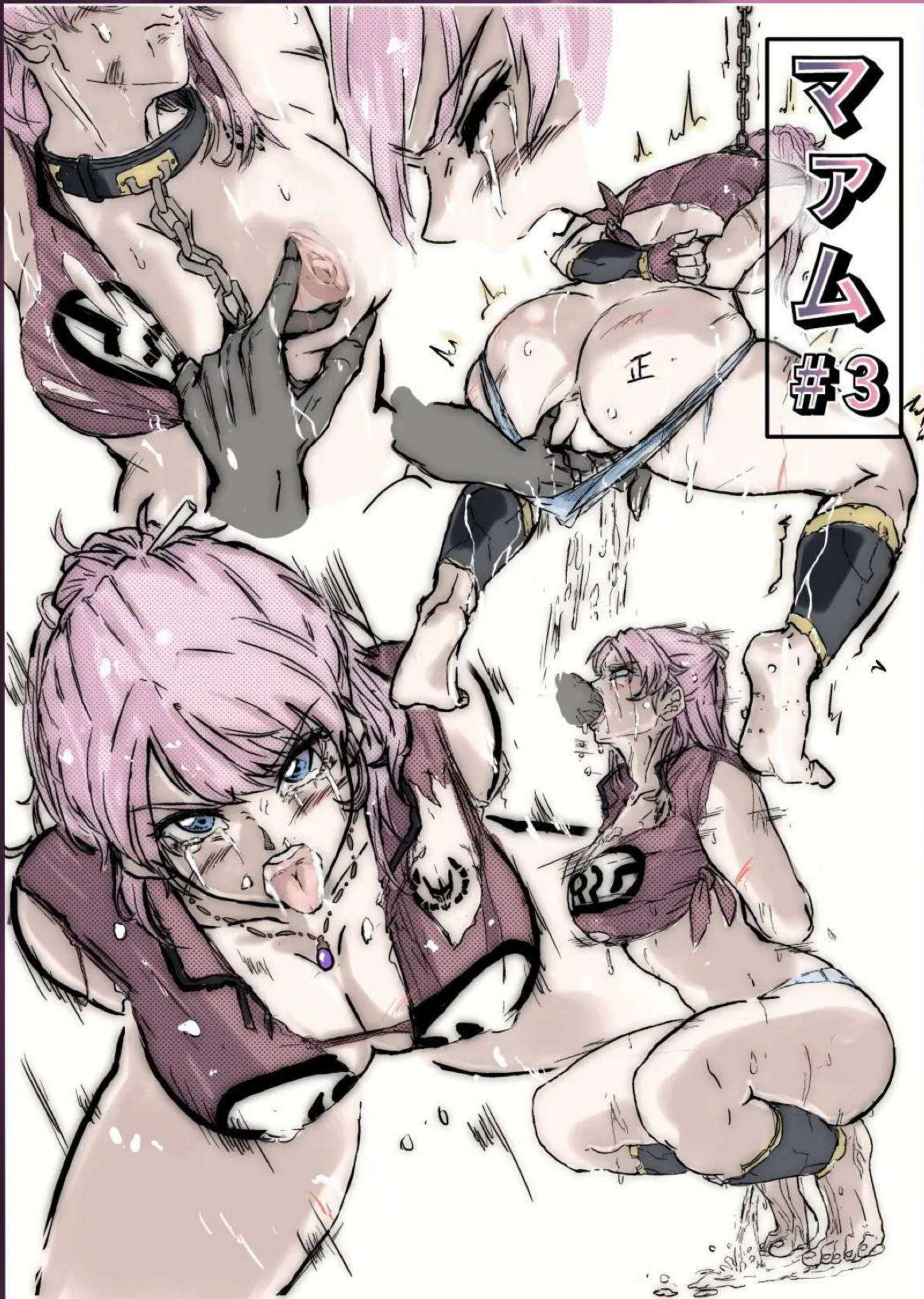
この猛りが鎮まるまでと

しよう



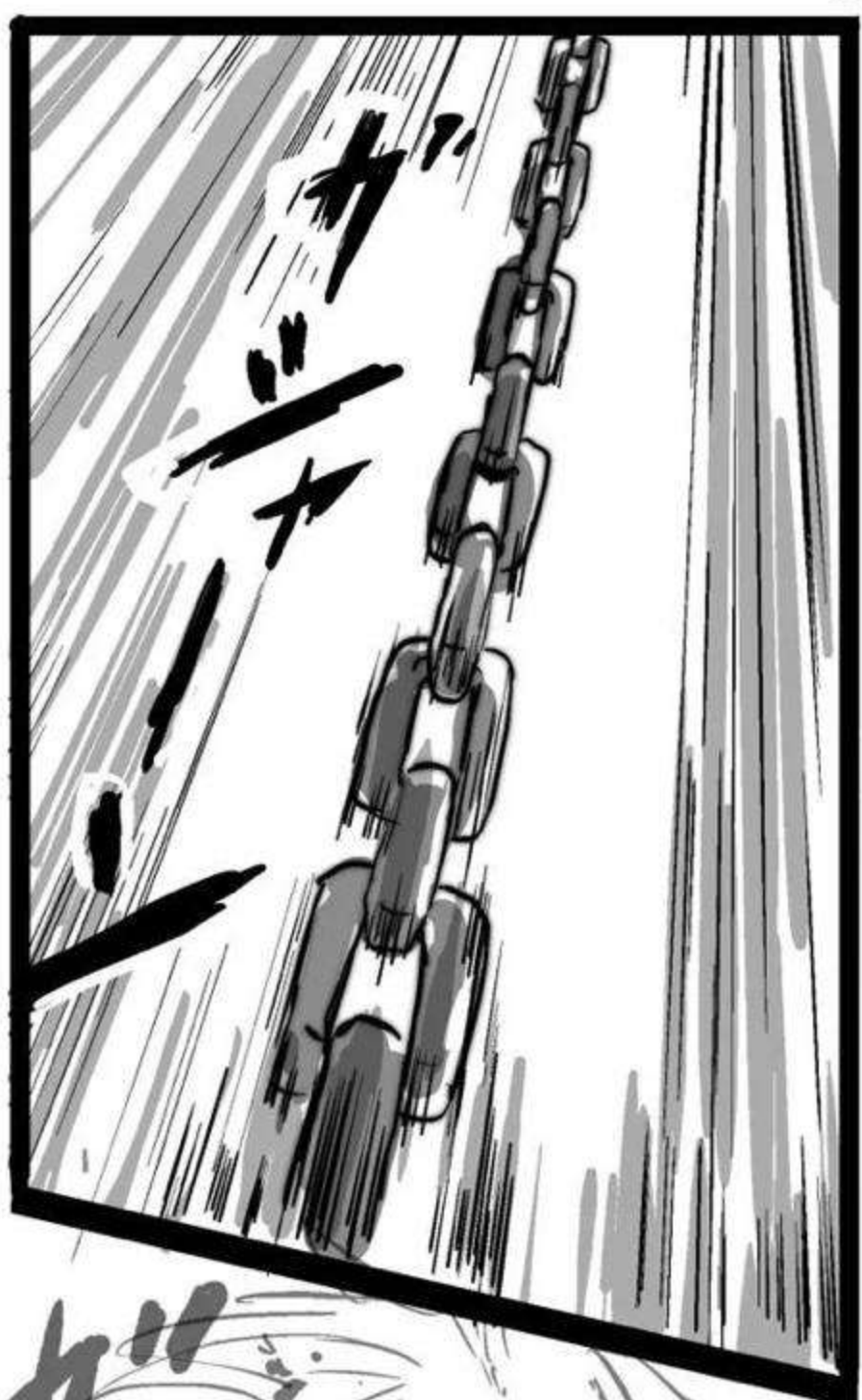
つづく...

マ
ア
ム
#3









それは貴様ら人間如きが
地べたに吐き捨てていい代物
じゃあないんだよっ



いい加減部をわきまえろよ
小娘が
キサマなどいつ始末しても
いいんだからなっ

さあ
一滴残さず飲み干せ

今すぐにだ

ぐ...ぎゅ...

グッ

くっダメ
さからえない

はむ

じゅるじゅる!!

ふあい...

ぐひん...

ぐ

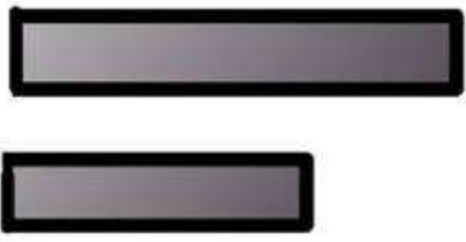
をん

あぐ

キ

そうだ:
それでいい

ハ



さて次はどうされたい
マアムよ…

ほう：
良く育つて
る
ではないか：

それに…

先ほどからずっと
ワタシに虐めて欲し
そうに
頭を差し出しているな

たぶん♡

ふふ

何がおかしい

ごめんなさい…

今まで命懸けで
戦ってきた相手がこ
んなくだらない
人達だと思つと…
ついね…

フツ
フツ
言ってくれる…

クッ
ッ

だがどうした？
手も声も
震えているぞ

抗い続けるキサマを
じつくりと…とも思っ
いたのだから

たっん♡

もう
わからせるか…

まただわ…

身体が

嫌なのに
疼いてー

んっ♡
クチュウ♡
クチュウ♡

クニゅ♡

さあワタシに
全てを委ねろ…

気持ち良
くなれるぞ…

ハァー♡
ハァー♡
ハァー♡

ぬぷ♡

クチュ♡
クチュ♡

くる…っ
き、気持ち…

気持ちいい

くちゅ♡

くちゅ♡



いイクっ

ダメエエエエ

はあっ はっ

ん…あっ

ダメっ

やああっ

んん

あっ
あっ

いやああっ

んっ

ガッ

ガッ

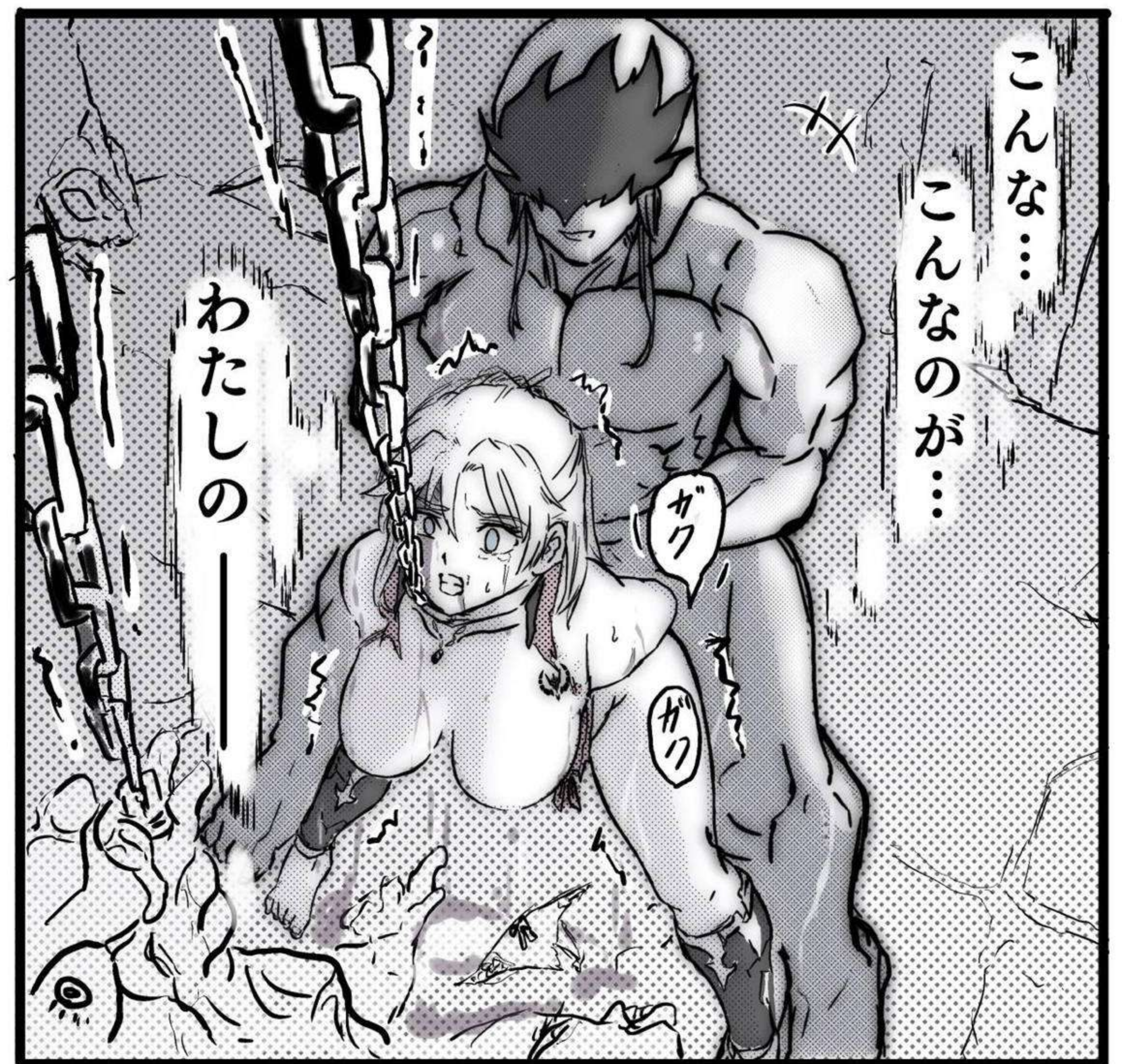
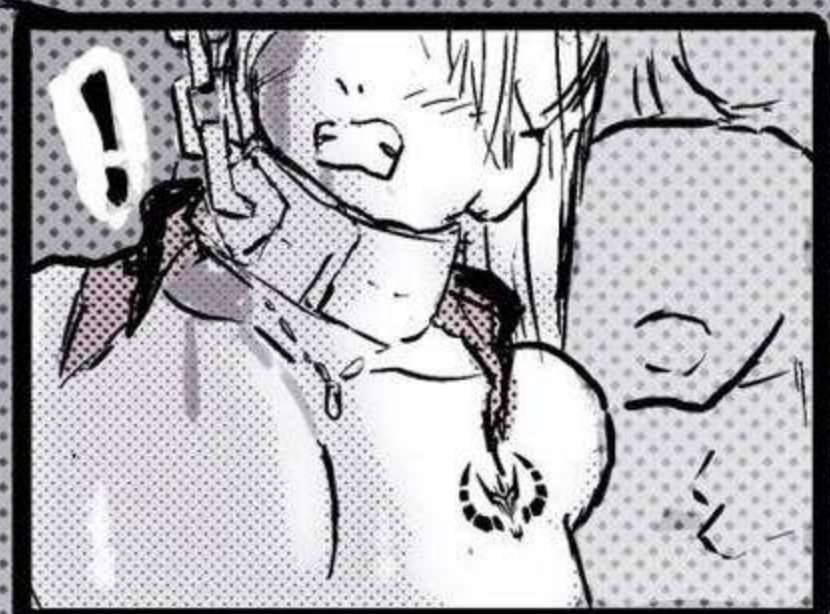
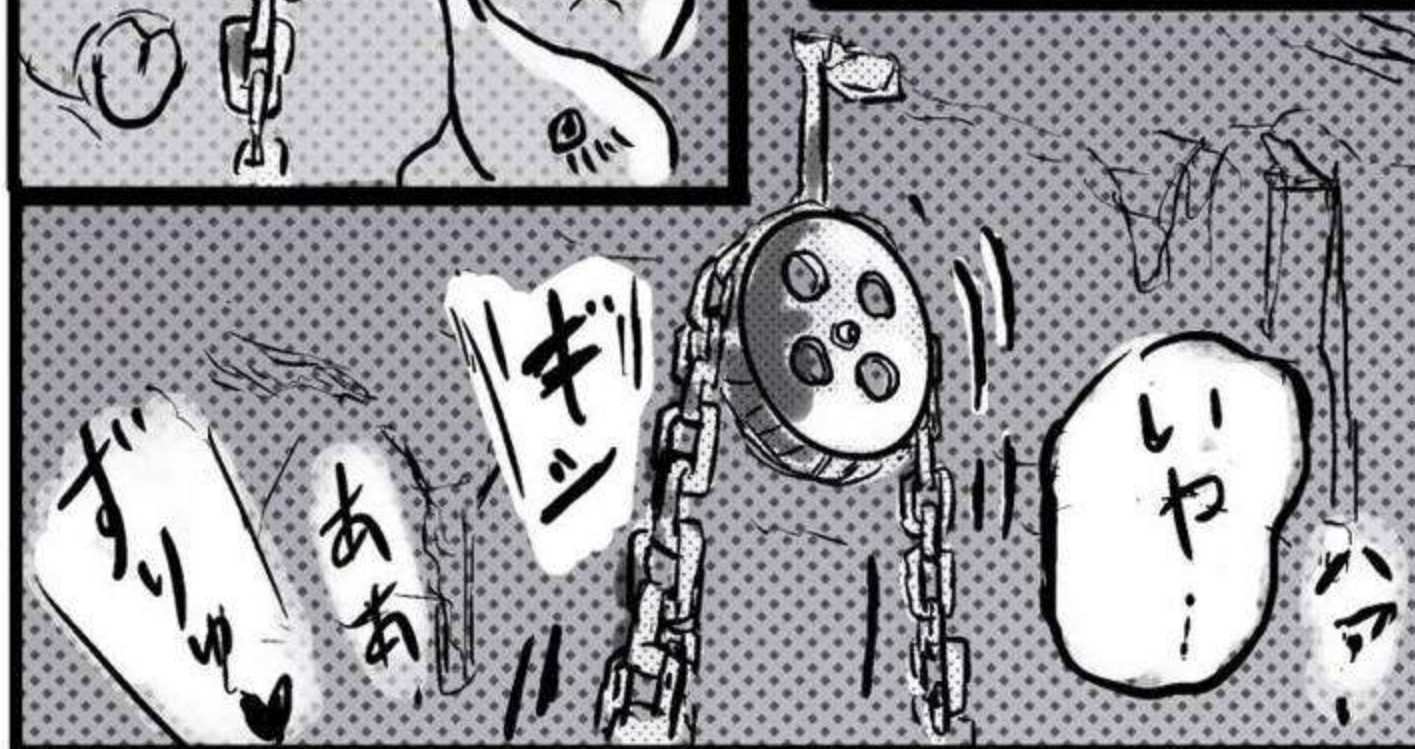
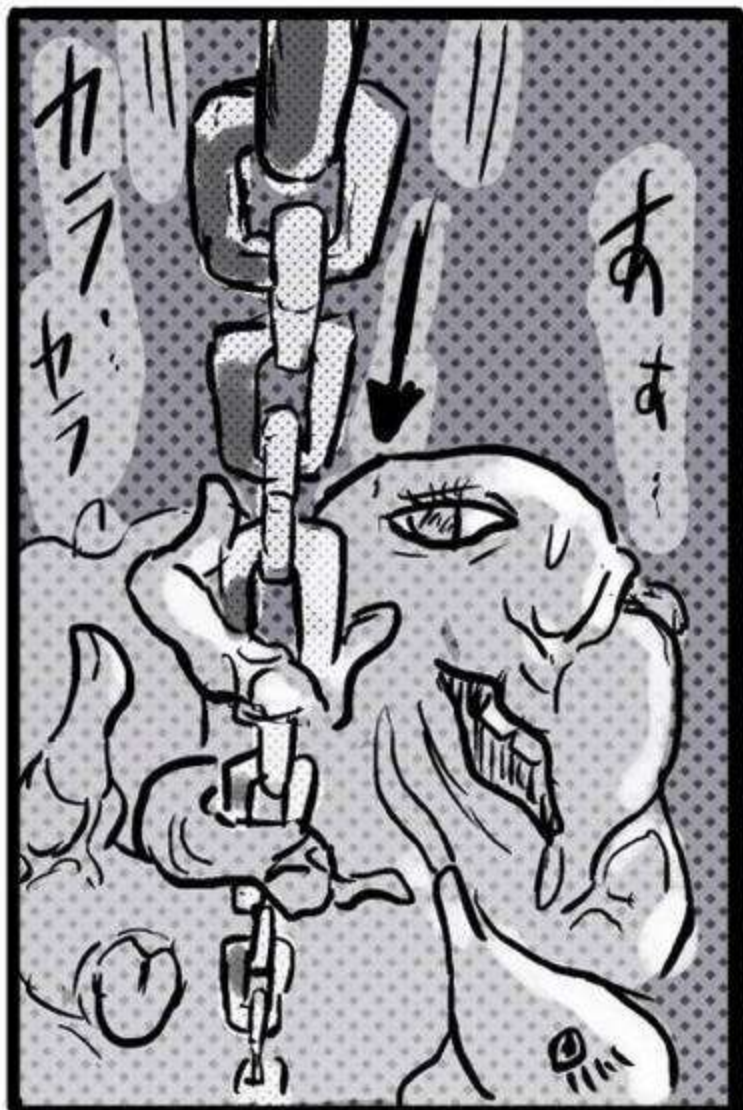
じゅぱ♡

良い反応だ
ついい遊びたくなっ
てしまふなあ

しかしどうだ？
おかげで滑りだけは
良くなつたではないか
感謝するんだな

やめてっ！！

Xっ♡



この瞬間だけは

グニッ

グリュ〜♡

この瞬間だけは

グニッ

グリュ〜♡

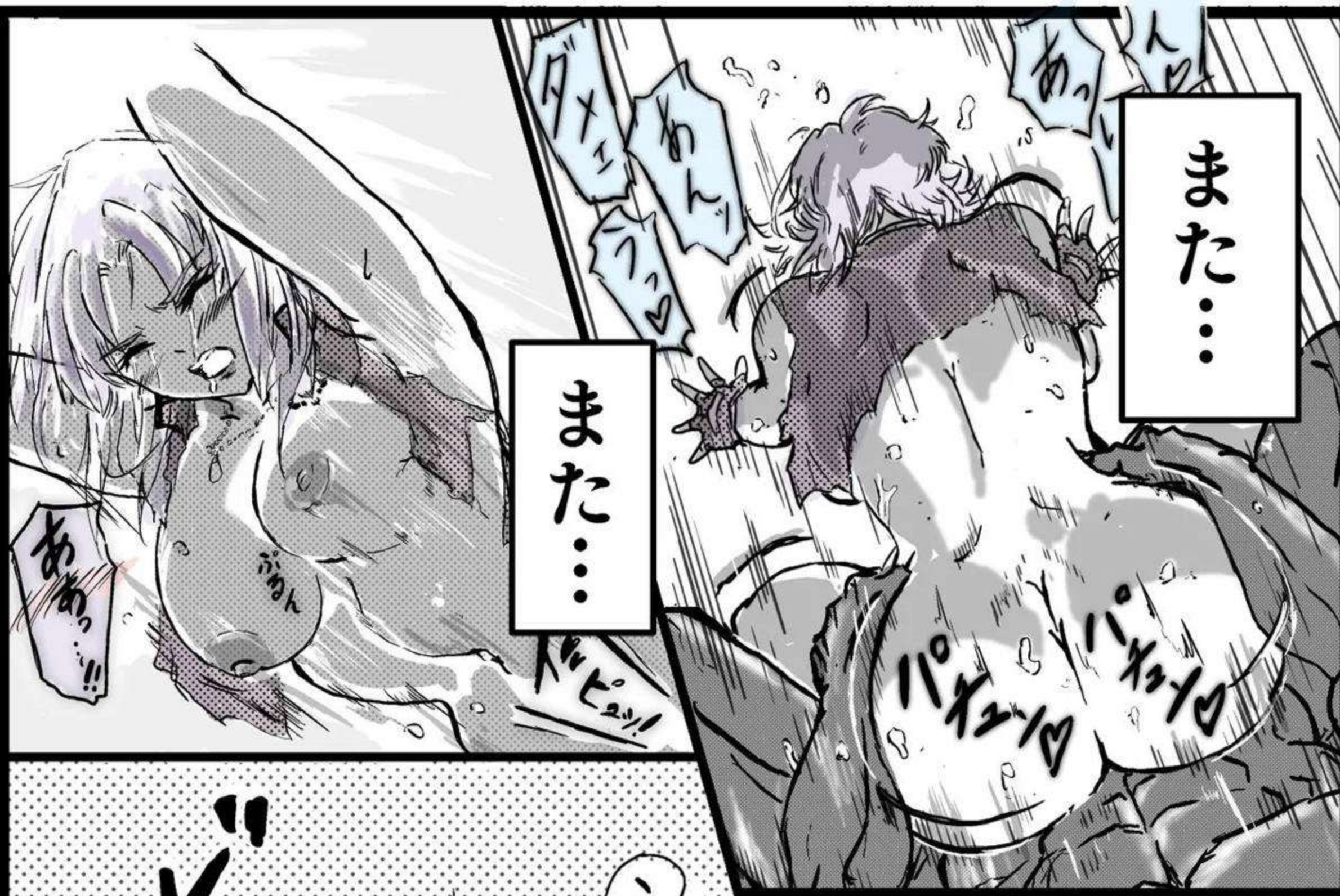
たまらん

[illegible]

何度
味あつ



マ
ア
ム
#4



また...

また...

また...



何度も

何度も



なか
腔内に出されては…



そうだ偉いぞ!!
こぼしたらタダでは済まないゾ



起きる



イカ
絶頂される……

尽きる事のない
彼の猛りと暴力が



私の心と身体を
犯し続ける

永遠とも思える
時間の中で
ひたすらに…繰り返し…

私は抗うすべも無く
ただ道具の様に陵辱され
彼を楽しませるような雌の反応を
見せてしまう

うーむ
おっ
おっ

ギッ

ギッ

とてつもない苦痛と羞恥と
嫌悪……そして……
快樂の連続……
私だって闘いに身を置く者……

こんなものも
あったな

捕えられたあの時から
覚悟は出来ていた……

はずだった
のに……

おーおー
中でどんどん成長
しているな

知らなかった……

性的な分野での拷問、暴力が
これほどまでに苦しいもの
だったなんて……

捕虜を^{なぶ}捌る事に関して
彼は私の想定の遥か上を
いつていた

良い反応だ♪

グチャ
グチャ

フハハッ
どうやら痛いのも
好きらしいな

ボロ

拷問は次第に激しさをまし
手段や形式も増え
どこまでも私を追い詰めていく



今私に出来る事といえば



少しでも彼の猛りが
鎮まるよう



彼の欲望を満たす
従順な僕となる事だけ



この体勢



きゅん...



さあ
ワタシを果てさせたい
のだろう

ならもうわかるな
ワタシが何を望んでいるか



ええ...





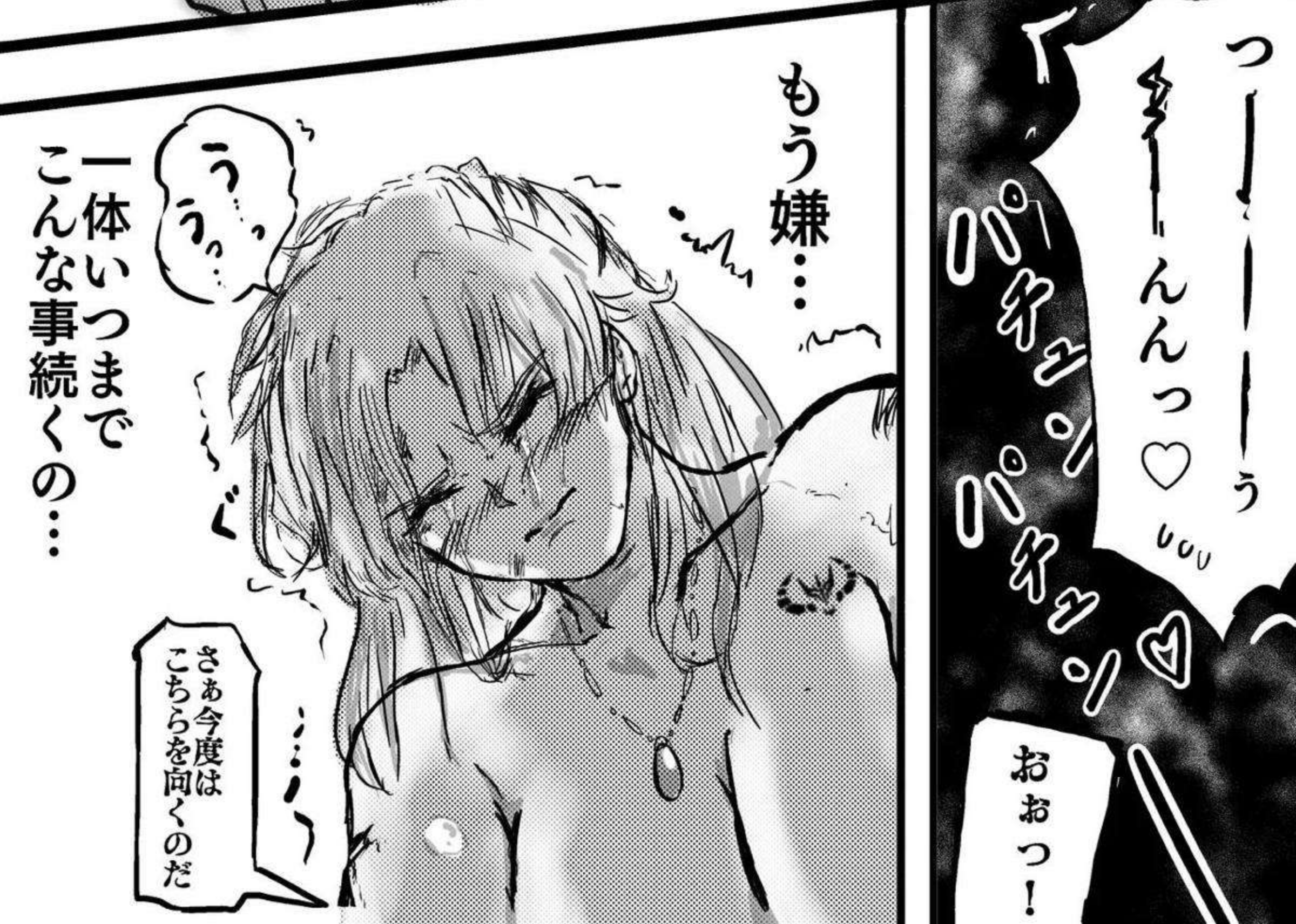
トッ!!♡
トッ!!♡

んん
はっはっ
はっあっ
んっ
あっ
んは



フハハッ 良いぞっ
これは驚いた!
見事な腰使いではないか

い
やっ
ん!



もう嫌...

うっ
うっ

一体いつまで
こんな事続くの...

さあ今度は
こちらを向くのだ



んんっ♡
う

パキョ%
パキョ%

おおっ!

契約の刻印



3 -

今の私に残された
たった1つの希望…

だった…



おそらくこれには何の効力も
ない
強力な魔法のはずなのに
魔力の気配が全く感じられない

弄んで楽しんでいたんだわ…
僅かな希望を与えれ
それにすぎるしかない私の様を



フツツ見事だ
武闘家などならずには娼婦に
なった方が良いんじゃないか

そーら
お望みの子種だっ
たっぷりくれてやる



ひぎいっい
っっっ

許せない...

ドブ

ビク

ギョ

なんて卑劣なの…
ひれっ

でも今は
この怒りのおかげで
何とか精神を保っているわ

うっ…
うう



立

ガッ!!

早く

お願い…

どんな些細な事

でも構わない…

一縷の望みを
見出す何かを…

これ以上は……もう…

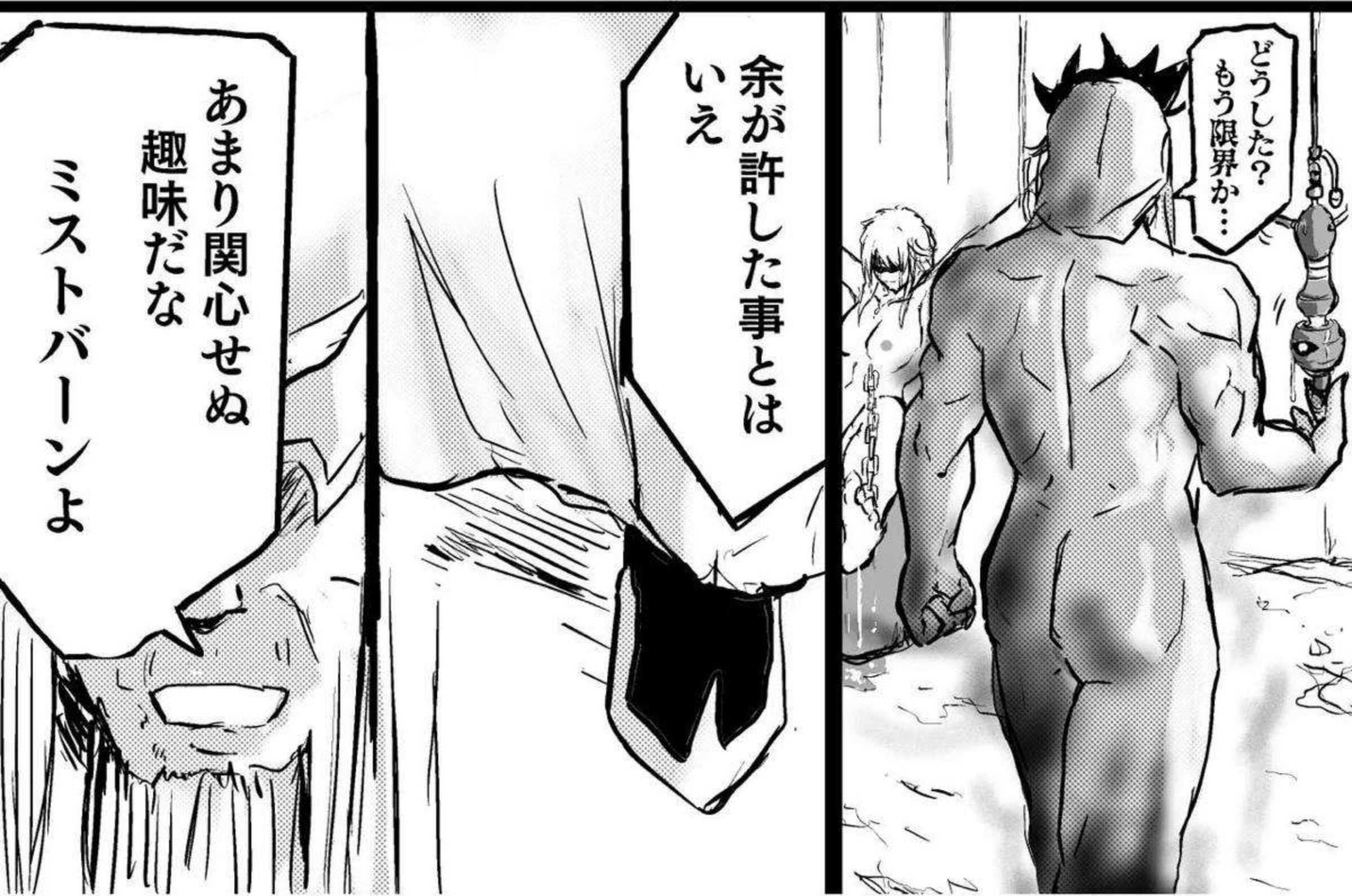


どうした？
もう限界か…

余が許した事とは
いえ

あまり関心せぬ
趣味だな

ミストバーンよ



バーン様!!

良い…

この空間では余とお前は
ただの古き友だ
それにその身体で膝を付く
でない

はっ
もったいなきお言葉
このミスド 御身に
対して何たる不敬を…

構わぬ

はっ
しかしバーン様自らが
この様な場に
足を運ばれるとは…
何かお心づもりが
ありましたでしょうか

なに 大したことはない
お前がこれほどに
熱を上げているのでな

余も少し
興きょうが沸いたのだ

大魔王バーン…

つづく…

マ
ア
ム
#5



随分と派手に痛めつけた
ようだな



あまり粗暴な扱いを
してやるでない
我ら魔王軍の品位が
疑われるではないか



ワタシもそう
したかった
のですが

たっ...♡

この者の
具合の良さがそれを
許しませんでした

キッ♡



品位ですって...

ギッ

ふざけないでっ！
アナタ達の卑劣さはもう
充分理解したわ！！

今さら天下の大魔王様が
私に何の用かしら まさか
この下賤な友とやらを
いさめに來ただけ
なんて言わないわよね！！

如何です？
この滅らず口

この胆力、肉体
そして精神

くぱあ...

やめてっ

愉しまない方が
難しいでしょう

娘よ

余はあるモノを見に來たのだ
それは人間相手に
しか叶わぬ 余の娯樂の
ひとつでな

まあ何にせよ

スト

余の最も信頼する腹心
ミストバーン

グ
グ
グ
グ

味合わない手は
あるまいな

グッ

そのミストを虜にした
貴様の具合の良さとやら

ミストよ
此奴の為にあつらえたモノが
あったな

それと傷も癒やしてやれ
余の相手するにはこれでは
見窄らしすぎる

はっ 直ちに準備します
フフしかしバーン様も
お人が悪い



何…

が…る…

何が始まる…と言うの…

これより貴様の身体を癒す



もつともワタシは貴様ら人間に
効果のある回復呪文は使えぬ…

よつて氷れる刻の牢獄…
此処の力を使い貴様の肉体を
巻き戻す

フフツ
ここに来てまた一からとは
同情するぞ…

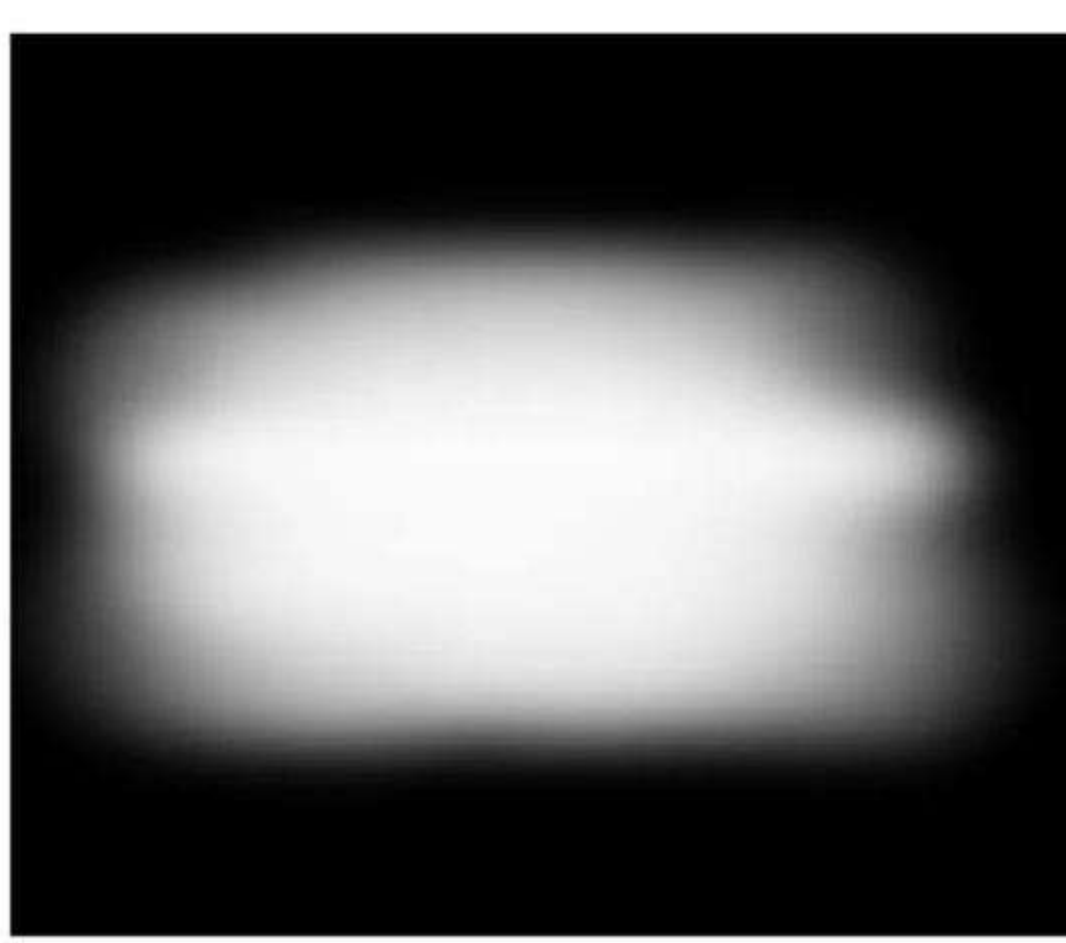
ではしばし眠るが
いい



か…身体が

目が覚めた時
どんな運命が
貴様を
待っているのか

フフフツ
フーハツハハ



バッ



私はっ
何をっ!!



こ、これは――

ミイル..
ミイル..

ミイル..
ミイル..

単に同じ・装備という訳ではない――

バッ!!

明らかにワタシの装備しぶつ――

どうして
こんなもの……

まさか……

そんなっ……

ワタシの村に
行ったの……？

やめて……

どうなのだ？
ミストよ

ええ

何の見どころもない
小さな村でした

あああああ
あああああ





なんて事なの

こんな...

こんな事の為に
みんなが



そう...その表情だ
かお
それが見たくて此処に
おもむいたのだ

人間とは実に愉快だ
魔物には無いその
激しい心の動きが現す
その表情...
なかでも恐怖や絶望と
いった負の感情を現す
表情は格別だ...



ミチっ♡

これを褒美とし
幕としよう



感謝するぞ
娘よ

まこと
良いものが見れた

許せない…
そんな事の為に

みんな…

状況はかなり
悪いでも…

このまま
何も何の抵抗も
出来ずに…

終わりにたくない!!!!

ぐわ

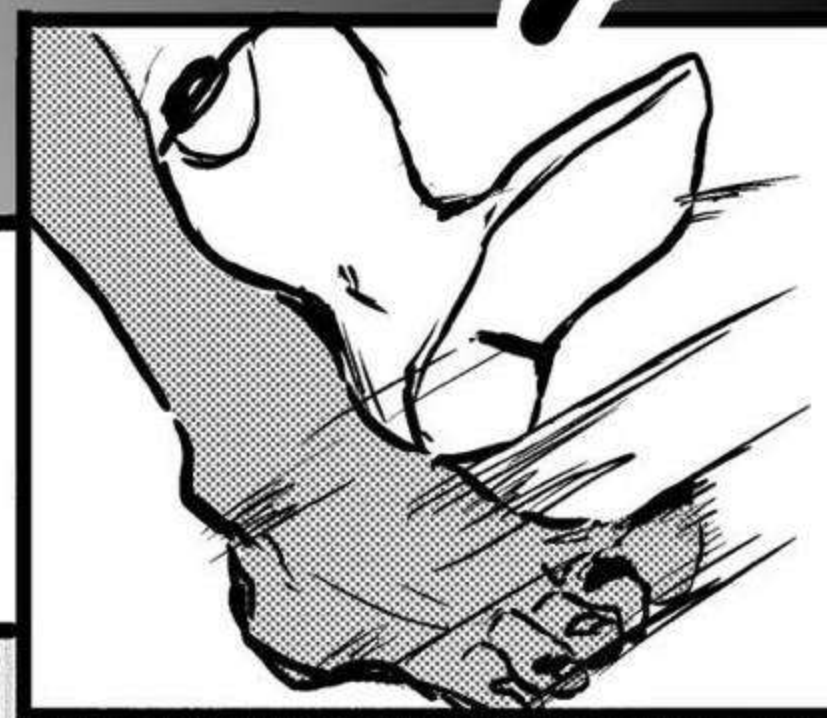
一か八か

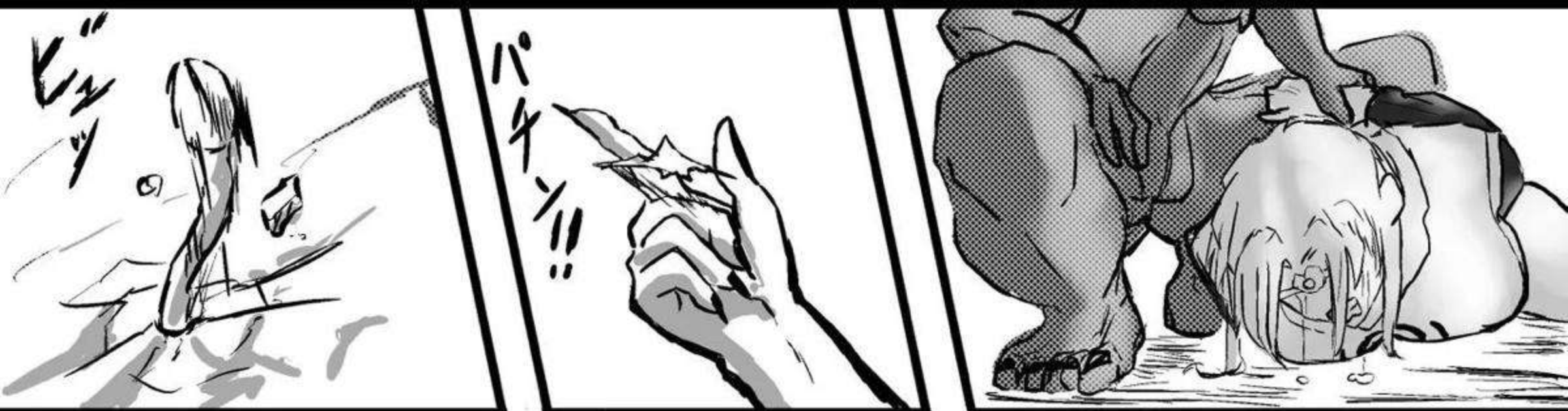
バツ!!

でやああああ
あああああ

この裂光拳でっ!!!







そんな事を言って
ワタシを弄んで愉しもう
って考えでしょうけど

ワタシは闘う…
覚悟はもう出来てるわ

フツ
まあ好きにするが良い

ハ
チ

余のモノを前に
いつまでその様な振る舞い
を続けられるか 見届けてくれる

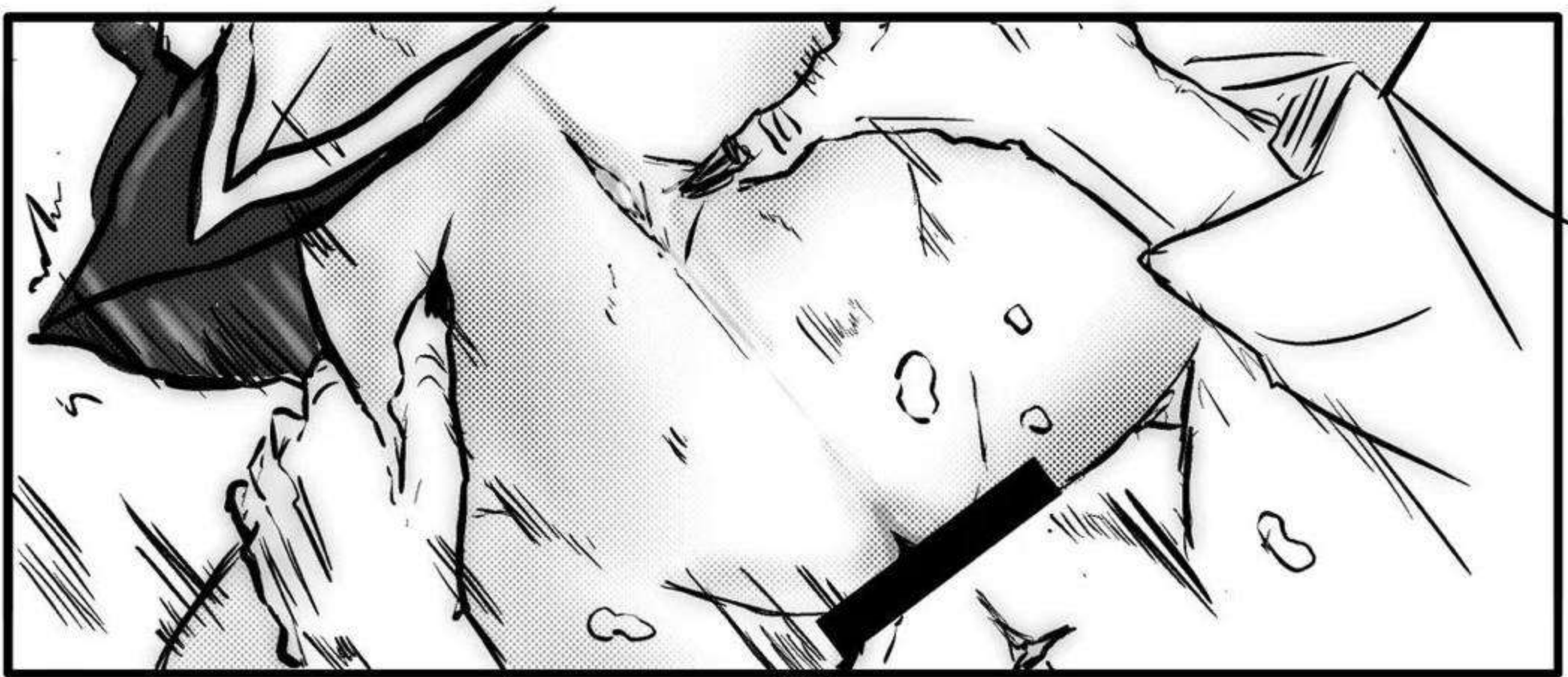
ドン♡

ひびく

ダイ…ポップ…
皆んな…ごめんね。



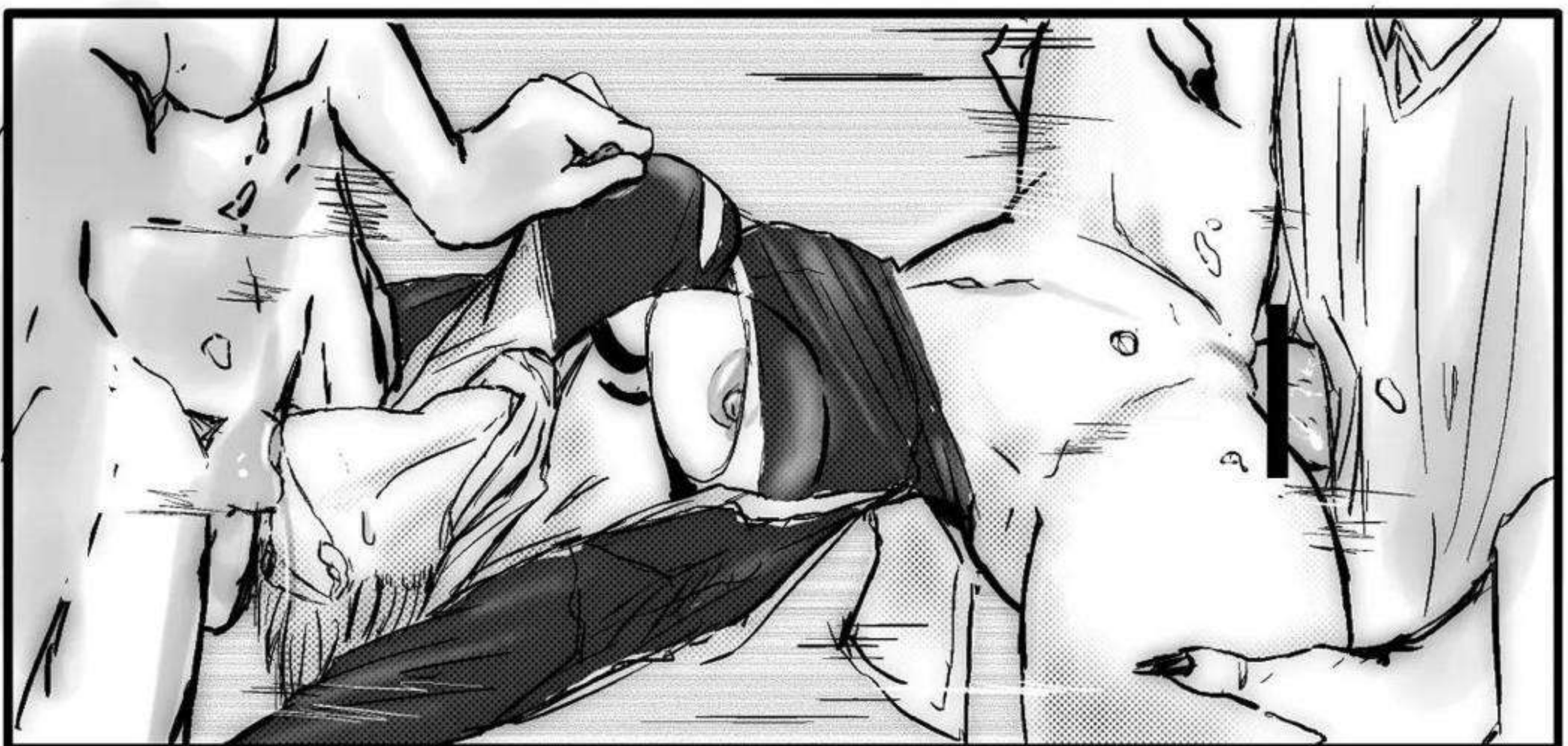
精一杯頑張ったけど



どうやら
私の冒険は…ここまでみたい



悔しいなあ…
本当に…でもね私…



ん
ん
う
う
う
う

ええ
これ以上ない器でした

フフフッ
良い余興であつたな

以来
マアムの姿を
見た者は
まだいない

END..

こんにちは♪マスヤスです

ここまで見ていただき誠にありがとうございます(o'▽'o) このあとがきみたいな憧れで一度やってみたかったので、お時間あればもう少しだけマスヤスの茶番にお付き合いください。

とは言ったものの特に語る事もないのでこの#5の補足でもしましょうかね

まず今回エロシーン少なくなっちゃいました。とにかく僧侶マアム描くのが1番の目的でして、こんな具合になってしまいました。

でもちょっとしたアクションなんかも描けて良かったです。

ネイル村のみんなは無事だと思います。バーン様はそんなつまらん事しないよね。のちに黒の結晶でまとめてやるしね。何人か連れてきて、プレイに使うくらいはありそうですね。

マアムの服ですが、寝てる間にミストがせっせと着替えさせるのはシュールすぎるので、ピッコロさんが悟飯ちゃんに服あげるヤツでいきましょう。セル編の。アレ好きやねん。バーン様の表情が見たいってヤツもセルがトランクスに言ってたやつをお借りしてしまいました…

わたくし1年中DBの事ばかり考えて過ごしてるものでして、、、

ってな具合です。(*'ω'*)

ここまでお付き合いありがとうございました
たくさんのいいね、ブックマーク、
コメント、とても嬉しかったです!!
ありがとうございました!!
次回はもう少し

上手く
エロく
可愛く
描けるように頑張ります!!
ではまた~ノシ

